

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

### F1 鈴鹿エクストララウンド

#### エルベレーシングはシリーズ戦同様に頂点を目指した

監督／ドライバー 山西康司

年間6ラウンド、全12戦で行われる「M2 CS racing series」。残すところ2ラウンド、4戦だが、9月22～24日三重県・鈴鹿サーキットにおいて「BMW & MINI Racing. 2023 EXTRA ROUND」が開催された。

F1日本グランプリと同時開催で行われた特別戦は、22日のF1フリー走行後に予選、23日のF1予選直前にレース1、24日F1決勝直前にレース2が行われるスケジュール。F1と同日に同じ表彰台でセレモニーも行われるという豪華なエクストララウンドとなった。

山西康司はシリーズ戦同様にElbe BMW M2 CS Racingにて参戦。エルベレーシングとともにポディウムの頂点を目指した。

3ラウンド目から参戦となった山西は、参戦当初より特別戦鈴鹿の優勝に照準を当ててセットアップを進めてきた。岡山、SUGOラウンドでのマシンセットとチームとの共闘体制を整え、絶対に勝ちたいという気持ちで臨んだ。

今回は登録が5名。エンジニア2名と3名のメカニックを登録。それ以外のメンバーはサポートに回っていただいた。

BMW & MINI Racing. Extra Round F1 GP 2023

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

### F1 鈴鹿エクストララウンド



#### 公式練習

エンジン冷却水の水温に問題が発生。セーフモードに入ってしまうベースが上がらず、想定より5～7秒遅いタイムでの走行となった。セッティングの確認はできたが、エンジンパワーが戻った事を想像しながらのセッティングは未知数な部分がありました。

また、F1が走行した直後の路面は、グリップするところと滑るところが激しい。いきなりアンダーステアになり、その後グリップがなくなるなど、難しいコンディション。最近のF1の路面の経験はなかったので分析する必要がありました。

#### 予選

思い切ってアタックを仕掛けて走行。セクターは1は全体ベストでしたが、日立 Aetemo シケインの立ち上がりで2速から4速に入ったり、NIPPO コーナー（旧ダンロップコーナー）で4速から6速になったりと不具合が発生。2速で走りたい日立 Aetemo シケインを4速で立ち上がったタイムはトップから3秒遅れの4番手。ピットインして復旧を試みるが症状は変わらぬまま予選終了。4番手となった。

#### 予選後

表示されていたエラーをエルペオート株式会社にて検証。本店、OBT、貝塚の3店舗からエンジンオイルを集めて持ってきてもらい、車輪速センサーも4つ入れ替えて対策を施すが、レース1で走行してみるまで改善されているか確認できない厳しい状況でのレースとなった。

新車のうちはトラブルが少ないが、シリーズが経過するごとにトラブルが起きることもある。クラックチェックシラブルが出るかもしれないところを予想して対処。エルペオート社長も監督も21時まで残って対策。チームが一つになってレースに挑んでいく。

BMW & MINI Racing. Extra Round F1 GP 2023

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

### F1 鈴鹿エクストララウンド



#### レース 1

今回のレースは特別戦につきノーハンデとの情報だったが プラチナ規定は継続されて、アマチュア 450 馬力に対して我々と Studie チームは 420 馬力に制限された。

スムーズなスタート後、前走車は SUGO で抜きあぐねた石井選手。飛び込むほどのタイミングがなく少し様子を見ながらの序盤。4 周目にコースアウトのアクシデントからセーフティカーが導入され入りそのままチェッカーが振られレースは終了となった。

F1 走行後の路面は理解できた。110R、300R の動きを改善したく、車両保管後に オンボード映像を確認しながら望月エンジニアに相談させていただき、翌日うまくいくように車のセットをピンポイントで調整出来た。

#### レース 2

今回の台数では 4 台で逆グリッドになり、ポールポジションからのスタート。2番手の水元選手は 450 馬力でニュータイヤ。楽に勝てる場面ではない。

グリッドに行く前にまた再度前日に悩まされた電子制御系トラブルの警告が出てしまった。そこでピットロードで車を停めてリセット。電子デバイスの使い方はレースに向けていろいろ考えていたが、タイムよりも安定性重視の設定をチョイス。トラブルが起きるよりも最後まで同じ状態で レースすることに切り替えた。

望月エンジニアが日曜日不在だったため、古田エンジニアが日曜日を担当してくださったが、携帯電話を 2 つ持ってうまくコントロールしてくれた。携帯電話を準備してくれたマネージャーに感謝したい。

BMW & MINI Racing. Extra Round F1 GP 2023

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

### F1 鈴鹿エクストララウンド



ニュータイヤだったため、100%でスタートできるようにタイヤの温め方に注意を払った。2番手の石井選手をブロックしすぎると、3番手の水元選手が迫ってきてしまう。

トップキープはマストでありながら、後続の2番手3番手選手の順位も変わらないようにシミュレーションして決勝に挑む。古田エンジニアも同じ考えで無線でのアドバイスで走り方を確認した。

結果、イメージ通りのスタートに成功。車4台分以内の範囲に来ると一気に相手が元気になるので、オープニングラップに全神経を集中した。

しかし2周目にセーフティカー導入。2分16秒台のタイムが出るくらいタイヤも温められていたが、良いクールダウンになると考えて周回。2周ほどでレースは再開。

タイヤのグリップが落ちないギリギリで目一杯攻めてマージンを保った。レース2で調整したSETは完璧だった。ワンミスで抜かれてしまうスキを与える緊張感の中、走行を重ねる。予選ポールタイムを上回る、ファステストラップを記録し、2番手以降を引き離してぶっちぎりの優勝をすることができた。



BMW & MINI Racing. Extra Round F1 GP 2023

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

F1 鈴鹿エクストララウンド



中嶋悟さんの活躍を見てこの世界に入って、鈴鹿サーキットレーシングスクールの1期生としてこの世界に入りました。

鈴鹿サーキットの職員の方や、多くのレース関係者が見守る中で、本当のF1表彰台でシャンパンファイトできた事は、長い間、どうしても叶えられなかった夢を叶えられた気がしました。

今年の6月に母が亡くなり、母が今回のレースに対して私の背中を押してくれていた気がします。亡き母に捧げる優勝になりました。恩師の野田さんと、ずっとサポートしてくれた家族に感謝します。

この機会をご縁をくださったエルベレーシング、エンジニアメカニックマネージャーその他スタッフ全員に感謝したいと思います。

カート時代、ダンロップワークスドライバーだった自分にとって、ダンロップのキャップを被り表彰台に上がったことも嬉しかったです。

“フォーミュラ1”だけを夢見て生きてきた自分としては残念ながら本戦ではありませんでした。その夢は残念ながら叶いませんでした。

しかし、カテゴリーは違いますが夢を叶られました。

本当のポディウムの頂上。感動しました！！ 応援ありがとうございました！

山西康司

BMW & MINI Racing. Extra Round F1 GP 2023

# Elbe BMW M2 CS Racing

## SUZUKA CIRCUIT

### F1 鈴鹿エクストララウンド



エルベオート株式会社  
代表取締役社長 高橋克彦

このレースで優勝することを目標に準備してきました。

経験のあるの山西選手にはチーム全体をうまくまとめていただき、エンジニアの望月さんには、トラブルを解消してもらい、社員であるメカニックやマネージャーたちも素晴らしい動きでチームが一丸となって、目標であった優勝を達成できました。

我々は、M モータースポーツディーラー権を持つワークスチームとして、今後も継続して参戦したいと考えています。

